

Q 県道福岡日田線、通古賀交差点と都府楼南交差点の間に設置されていた横断歩道が鷺田橋の架け替え工事後に撤去され、そのままになっている。地元の方々からは不便になり危険性が高くなったと再設置の要望があがっている。撤去理由と再設置についての見解を伺う。



問 横断歩道の再設置を

はせがわ 長谷川 公成 議員



録画映像はこちら

A ご指摘の横断歩道は、都府楼団地入口信号からの距離が約100mと近接しているため、渋滞時には歩行者が渋滞している車の間を横断することになり事故の危険性が高まることなどから、鷺田橋の架け替えにあたり撤去されました。

横断歩道の再設置については、地元自治会から要望を継続していただいていること、横断される方が一定数おられることから、市も横断歩道の必要性を認識しており、設置に向けた可能性を探りながら警察と協議を重ねています。

歩行者の状況等の把握

全質問項目

- ◇横断歩道の再設置について
- ◇スクールカウンセラーの増員について
- ◇施政方針の進捗状況について

どうなっとうと？ 個人質問

Q 福岡県では、地域猫活動ガイドラインが作成されている。地域猫活動は、猫を助けた方と猫に困っている方が、飼い主のいない猫に関する問題を地域の共通課題として捉え、お互いの歩み寄りにより、地域住民の間で合意し、長期的な視点で地域から飼い主のいない猫を減らしていくこととされている。ガイドラインでは、地域での話し合い、活動の計画づくり、不妊去勢手術、餌・トイレの管理、その後の管理、という順で活動の進め方のポイントが示されている。本市における地域猫活動の現状と課題について伺う。



問 本市の地域猫の現状と課題は

とくなが 徳永 洋介 議員

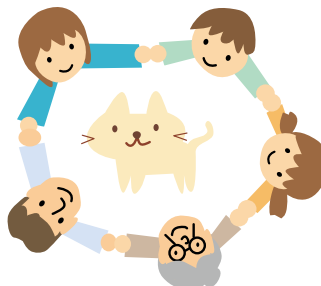


録画映像はこちら

A 本市には、現在猫活動を行う団体の取り組み事例はありませんが、無責任な餌やりへの個別的な助言指導やホームページ、広報紙等による猫の適正飼養に関する啓発などの取り組みに加え、令和2年度から不妊・去勢手術費の補助事業を開始し、飼い主のいない猫の繁殖を低減させることにも取り組んでおり、これまでに合計で79件の交付を行っています。今後、このような取り組みを通して、新たな繁殖を抑制するとともに、地域猫活動の周知啓発にも努め、人と動物が共生できる地域づくりを目指し

全質問項目

- ◇本市の地域猫活動について





問 適正な公共施設管理は
できているのか
木村 彰人 議員



録画映像はこちら

Q 令和7年度末に
指定管理期間が
終了する太宰府市総合体
育館及び太宰府史跡水
辺公園（市民プール）の
施設管理に関して、3点
伺う。

- ①両施設の現状の管理状
況について
- ②施設の維持補修の状況
と精算返還金について
- ③次期の指定管理者の募
集方法について



とびうめアリーナ

A ①代表企業であ
るシンコー
スポーツ九州株式会社
が主に運営を担い、構
成企業の西鉄ビルマ
ネージマント株式会社
で指定管理業務を行
い、施設の維持管理を
担っています。

②施設の維持補修につ
いては、年間事業計画書
の点検計画書に基づき、
毎月点検を実施し、不
具合箇所を報告いた
っており、修理・修繕
は優先度の高いものか
ら適宜実施しています。
精算返還金につ
いて、両施設の修繕料は、
施設ごとに上限額が決
められており、上限額
を超えない場合は精算

を行うものとしていま
す。反対に上限額を超
える場合は、原則的に
市で修繕を行うことと
しており、補修・修繕
を行う場合は、事前に
市と協議した上で実施
することとしています。

③公募を基本と考えてい
ます。

全質問項目

- ◇指定管理者制度による適正な公
共施設の管理について
- ◇第3期総合戦略は期限までに策
定できるのか



問 人権センターを
全市民対象施設に
する
神武 綾 議員



録画映像はこちら

Q 太宰府市人権セ
ンター条例に基
づき、南隣保館、南児童
館、南体育館が人権セン
ターとして設置されてい
る。利用の現状と今後の
活用について2点伺う。

- ①一部地域住民に限ら
ず、全市民対象の利用
施設に変えて条例改正
も検討すべきと考える
が、市の見解は。
- ②施設の老朽化対策は。



人権センター

A ①南隣保館では、
条例に定めら
れている地域住民及び
周辺地域住民に対して、
設置目的に係る各種事
業を実施しています。
また、市の福祉事業や、
人権講座「ひまわり」
等、周辺地域住民及び、
広く市民にも参加を周
知しています。

南児童館では、地域
の小中学生への指導や
支援、地域の高齢者や
保育園児との交流、家
庭訪問による保護者支
援等を行っています。
これらの活動に対し、施
設の設置目的を理解し、
賛同する市民には参加
いただいています。
南体育館は、幅広く

市民に利用開放してい
ます。
条例の改正は、太宰
府市部落差別の解消の
推進に関する条例に基
づく施策の進捗状況を
勘案しながら慎重に判
断します。

②太宰府市公共施設等総
合管理計画に沿って調
査研究を進めます。

全質問項目

- ◇人権センターについて
- ◇オスプレイ飛行について
- ◇学童保育所の指定管理者の指
定について
- ◇高齢者の聞こえの保障について

質問を行った議員名と質問項目、及び原則として最初の質問項目と回答内容の要約を掲載しています。



問 市内交差点の改良
整備は進んでいるか
原田 久美子 議員



録画映像はこちら

Q 平成25年9月の
定例会一般質問
において、五条交差点に
右折矢印信号機の設置と
スクランブル交差点の導
入を要望したが、設置お
よび導入は難しいとの回
答だった。あれから10年
が経過したことから、交
差点等の整備に関して、
五条交差点へのスクラン
ブル交差点の導入と右折
矢印信号機の設置につ
いて改めて伺う。

A 歩車分離式のス
クランブル交差
点への改良は、通過車両
台数が多く、更なる渋滞
を引き起こす可能性があ
ることから、現時点では
難しいと考えています。
矢印信号機の設置につ
いては、警察との協議を
積極的に進めた結果、君
畑交差点から天満宮駐車
センター方向およびその
逆方向に右折信号機を設
置する具体的な検討が始
まりました。可能な限り
早期の設置に向けて、引
き続き全力を挙げて取り
組めます。



五条交差点

なお、市役所から梅大
路交差点方向およびその
逆方向は、五条駅入口交
差点の信号機との連動な
り。

全質問項目

- ◇市内の交差点等の
整備について
- ◇市庁舎の整備について



問 ヤングケアラーへの
さらなる支援を
陶山 良尚 議員



録画映像はこちら

Q 令和6年6月に
子ども・若者育
成支援推進法が改正さ
れ、ヤングケアラーは、
国、地方公共団体が各種
支援に努めるべき対象と
すること、18歳以上の若
者にも切れ目ない支援を
行うための体制を整備す
ることが明確化された。

この改正を受け、本市
における今後のヤングケ
アラ―への支援の在り方
や現在までの取り組み状
況について伺う。

A 本市では、相談
や通報に加え、
関係課、関係機関からの
情報や家庭への訪問時の
状況などからヤングケア
ラーの把握をしていま
す。個別の状況に応じて

ケース会議を行い継続的
な支援に努めています。
令和6年6月の子ども・
若者育成支援推進法改正
に伴い、支援の対象年齢
は「18歳未満のこども期
に加え、進学や就職の選
択など、自立に向けた重
要な移行期を含む若者期
を切れ目なく支えるとい
う観点からおおむね30歳
未満を中心としている
が、状況等に応じ、40歳
未満の者も対象となり得
る」とされました。今後、
新たな法制上の位置付け
のもと、関係課、関係機
関とも連携し、実態に
合った切れ目ない支援体
制づくりに努めます。

全質問項目

- ◇ヤングケアラーへの
支援について





問 福祉バスをもっと使いやすく

もりた まさつぐ
森田 正嗣 議員



録画映像はこちら

Q 本市社会福祉協議会の福祉バスは、老人会やボランティア団体などが研修やバスハイク等に利用している。しかし、近時、予約が取れず企画をあきらめる自治会や老人会もあると聞く。特に、出歩くことの少ない高齢者にとって、知見を広めフレイル予防にもなる外出企画は大事だと考え、4点伺う。

A ①本市社会福祉協議会の福祉バスは、地域福祉活動及びボランティア活動等の増進を目的としています。

②令和5年度は、約160件、1千時間の利用がありました。

③福祉バスは年間を通じて利用できますが、秋の行楽シーズンは、日程が重なるため予約をお断りすることもあるとのことです。

④本市は様々な福祉の推進のために福祉バスの運行を支援しており、申込の増加に伴う対応については社会福祉協議会と協議を行っています。福祉バス以外

①現在策定中の大宰府跡整備基本計画などの整合性を図りながら、快適性、回遊性、安全性なども踏まえ、更なる魅力向上に繋がるよう、再整備に向けた計画の検討を進めていきたいと考えています。

全質問項目

- ◆社会福祉協議会の福祉バス利用について
- ◆犬・猫の管理について



の高齢者の外出支援策についても検討を重ねます。

Q 小中学校の屋外運動場整備について3点伺う。

①屋外運動場の整備や日頃のメンテナンスの必要性について、基準等はあるのか。

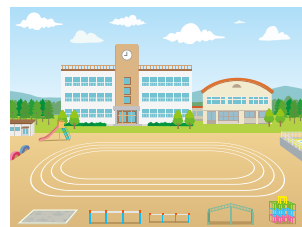
②屋外運動場は雨が降った後、雨水の流れ道ができて不陸（※水平でない状態）がそのまま残った場合などに怪我のリスクがある。メンテナンスの実施状況は、フェンスや樹木・屋外階段・遊戯施設などがある。

③屋外運動場には、フェンスや樹木・屋外階段・遊戯施設などがある。公共施設は法的には点検が免除されているが、定期的に点検等がなされているのか。

④不陸の整備等は、学校からの要望に応じて業者へ依頼し、砂の敷き均しや転圧等を実施しています。

全質問項目

- ◆小中学校屋外運動場の整備について
- ◆児童の登下校時の交差点横断について



や運動施設等は、専門業者による年2回の定期点検を実施しています。



録画映像はこちら

問 小中学校の屋外運動場の整備推進を

いりえ ひさし
入江 寿 議員

A ①屋外運動場についても学校施設となっており、日頃の整備やメンテナンスが必要だと考えています。また、文部科学省の施設整備指針や遊具の安全点検の指針等に則り、専門業者に委託し点検等を毎年実施しています。

②不陸の整備等は、学校からの要望に応じて業者へ依頼し、砂の敷き均しや転圧等を実施しています。

③樹木の剪定や雑草等草刈については、造園業者やシルバー人材センタ―に委託し年1回程度の維持管理をしています。また、遊具施設



問 観光都市太宰府を実現しよう

はしもと けん
橋本 健 議員



録画映像はこちら

Q 本市をさらに魅力ある観光都市にステップアップさせ、税収増を図るためには、思い切った環境整備や受け入れ態勢を整えることが不可欠だと考え、3点伺う。

①歴史の散歩道の整備について

②公衆トイレの新設について

③ホテルの誘致について



③本年策定しました第二次太宰府市観光推進基本計画の基本施策に基づき、歴史的建造物を活用した高付加価値の宿泊施設の誘致や、様々な時間帯での観光コンテンツの充実による体験型宿泊プランの創出を行うなど、民間事業者と連携して取り組み、経済税収効果の拡大を図っていきます。

全質問項目

- ◆観光都市太宰府プランについて



問 市民の声を「見える化」できているか

うへだ れいこ
馬場 礼子 議員



録画映像はこちら

Q 市民の苦情等の管理と公表に関して6点伺う。

①苦情等の申し出方法と手段について

②苦情等の年間の件数について

③苦情等を受け付けた後の進捗管理について

④苦情等を申し出た方へのフィードバックについて

⑤市役所のカスタマーハラスメント対策について



市民の意見箱

A ①市民の意見箱やHPの問い合わせメールなどです。

②市民の意見箱は80件余り、問い合わせメールは1千件余りです。

③市民の意見箱等に寄せられたご意見等は、経営企画課で一元管理しており、すぐに担当課と共有しています。各部署への意見も、可能な限り適切な進捗管理に努めています。

④すぐ対応できるものは迅速に、時間を要するものについては、その検討状況を適宜回答しています。

⑤職員個人ではなく、組織的に対応することとしています。注意すべ

全質問項目

- ◆市民の苦情等の管理と公表による見える化について
- ◆女性相談窓口の早急な改善について
- ◆NET119の普及のために自治体ができることについて
- ◆投票済証の周知・普及による投票率向上について



問 通学路の安全対策と地域見守りカメラの増設を



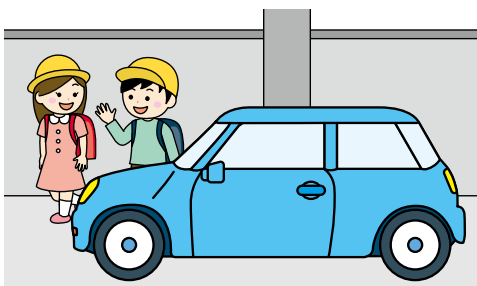
録画映像はこちら

Q 施政方針にある危機管理の徹底強化について2点伺う。

①本市小中学校の立地は傾斜地が多いが、子どもの安全と災害避難時の環境整備の観点から、通学路の見直しが見解は。また、危険箇所を選定と対処、狭隘道路の対策はどのような進められているか。

②地域見守りカメラの増設について

A ①通学路の安全に加え、住民の災害避難の視点も見据え、安心安全の環境づくりに努めます。危険箇所の安全対策は、市内7小学校から提供



全質問項目
◆令和6年度施政方針の進捗について



問 公共交通の確保を



録画映像はこちら

Q 路線廃止が提案されている西鉄バス星ヶ丘線について3点伺う。

①令和7年4月での廃止はさせないという強い意思が必要だが、星ヶ丘線に対する市の考えは。

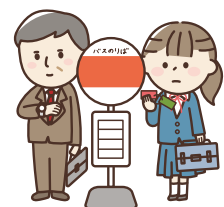
②代替交通として、まほろば号を通すべきと考えるが、市はどう考えているか。

③令和7年度デマンド交通の実証実験の予定である。何を実証したいのか、デマンド交通についての市の考えを伺う。

A ①市民生活に欠くことのできない大切な移動手段であり、この路線バスの廃止が沿線住民をはじめ、市外利用者も含め様々な方の生活に甚大な影響を及ぼすことから、路線が一方的に廃止されないよう現在も継続的に協議を重ねています。

②全国的にも公共交通を取り巻く環境はより厳しさを増している状況ですが、市民の移動手段をどのようにしていくか、まほろば号をはじめ、あらゆる可能性を検討して交通モードの検討を重ねています。

全質問項目
◆公共交通の今後について
◆やさしい公共空間について



問 災害対応訓練の実効性を高めよう



録画映像はこちら

Q 令和6年11月24日に地震災害対応訓練が行われた。

参加者から「防災無線が聞こえ難い」という話を聞いた。今回の放送は資源回収時と比べても音量が小さかったと感じた。また「避難するには急坂を登らなくてはならず、避難するなら筑紫野市の方がいい」と言う市民もいた。

より充実した訓練にするため、そして現実的な問題を回避するため、2点伺う。

A ①防災無線の設定ボリュームや録音時の音量の調整など考えられる原因を追究するとともに、HPやSNS「防災メール・まもるくん」などを併用し、的確な情報伝達に努めます。あわせて地域住民のつながりによる連絡網の充実、防災力の向上を図ります。

②実際に災害が発生した場合、今回の訓練では想定していない場所に避難することも考えられます。すでに広域的な対応が可能な教育機関（筑紫高校、日本経済大学）と連携協定を結んでいます。今後、



全質問項目
◆災害対応の充実について
◆世界に羽ばたく人材育成の一環としての外国人留学生との交流について

PICK UP!

市民と議会の意見交換会を開催しました

令和6年11月10日(日)に、いきいき情報センター2階で市民と議会の意見交換会を開催し、延べ37名の皆さまにご参加いただきました。



お知らせ タコスキッド議員が衆議院議員総選挙に立候補したため、令和6年10月15日付けで自動失職となっています。